

## 第3節 工業

### 現状と課題

本町は、従来からの衣服、繊維を中心とした地場産業に加えプラスチック、金属製品、食料品加工等の事業所が増加し、工業全体での構成比の中で占める割合が大きく、これらが地場産業として工業の中心を担っています。しかし、現在は下水道や道路の整備率は向上しているものの、製造拠点の海外シフト、輸入品との価格競争等、厳しい経営環境の中では新規参入企業がないのが現状です。

今後、既存企業の経営基盤の強化を図るため、技術改革、経営問題、情報交流等を積極的に取り入れるとともに、京奈和自動車道の開通による優位性を活かした優良企業の誘致に努め、企業ニーズに即応した対応を図っていく必要があります。

また、産学官の連携による新産業の創出やベンチャー企業の育成にも努めていく必要があります。さらに、近年の情報通信技術の進展により、充実した情報・通信網を求め企業が増加しつつあるため、今後、情報基盤の整備をはじめ、企業や労働者にとって魅力的な環境の整備を総合的に進めていくことが必要です。

工業

工業用地の整備

既存企業及び新規立地企業への支援

企業誘致活動の推進

### ●工業の現況

年度	事業所数(箇所)	従業員数(人)	製造品出荷額等(万円)	備考
平成13年	117	2,423	5,078,483	
平成14年	105	2,444	5,500,613	
平成15年	118	2,478	5,719,172	
平成16年	110	2,360	5,299,910	

資料:工業統計調査 従業者4人以上の事業所

**施 策****1. 工業用地の整備****①環境と調和した用地の整備**

住民の生活に配慮し、良好な基盤を整備するとともに、魅力ある就業の場を確保します。

**②新たな工業用地の確保**

京奈和自動車道の整備に伴い、高速道路網へアクセスする幹線道路の整備により、企業立地環境のさらなる充実を図ります。

**2. 既存企業及び新規立地企業への支援****①異業種交流の推進**

既存企業による技術交流、情報交換を目的として異業種交流や大学などの教育研究機関との交流を推進し、企業の技術水準の向上と新たな分野への事業発展を促進します。

**②中小企業の育成**

中小企業に対し、経営・経済に関する諸問題についての講習会や研修会などを通じて人材を育成し、商工会との連携を強化し、中小企業の経営基盤の強化を図ります。

**③情報交流の推進**

既存企業、新規立地企業及び町との交流会を実施し、行政施策をはじめ、雇用などに関する地域の情報提供を進めます。

**④情報化の推進**

企業が情報化を推進するための環境を整備し、事業活動の機会拡大を図ります。

**3. 企業誘致活動の推進****①積極的な企業訪問の実施**

県との連携をはじめ、あらゆる手段による情報収集に努めるとともに、積極的に企業訪問等を実施し、誘致の推進を図ります。

**②ホームページ等によるPRの推進**

本町の工場適地などの紹介を町ホームページ等で進め、企業誘致に向けて積極的なPR活動を展開します。